

## 一般質問通告書(平成 23 年 9 月定例会)

氏 名・質問事項・答弁先	質 問 要 旨
<p>1 3番 村上 和子</p> <p>1 災害復旧対策の取り組みについては抜本的な改修が必要では (町 長)</p>	<p>台風12号による、9月2・3日の大雨で多くの被害をもたらし、災害復旧対策で多額の費用の捻出に大変であるが、今回は230ミリという昭和56年以来の雨量で、河川も許容量を超え大洪水・浸水をもたらした。改修にあたっては優先順位を決めて取り組むと考えるが、抜本的な改修が必要であり、護岸工事などは隣町との連携による対策を取らないといけないと考えるが、今回の災害復旧対策について、これらの対策はどのような取り組みを考えているのか。</p>
<p>2 道内介護報酬減額が打ち出された事による、介護従事者の処遇が後退することのないような方策を (町 長)</p>	<p>平成21年4月、介護人材の確保、待遇改善等を狙いとして、介護報酬プラス3%の改定が実施され、町としても介護従事者の人件費等の見直しをしたところであるが、今後において、北海道の介護報酬減額が介護従事者等の処遇改善に支障をきたすことがないのか。支障をきたさない方法で町独自の今後の介護従事者の改善を図るべきでは。</p>
<p>3 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業について (町 長)</p>	<p>高齢化時代となり、要介護老人の増加に対応する施策の充実として生きがい健康づくり推進協力員(コーディネーター)の養成や、高齢指導者(シニアリーダー)研修等が必要と考えるがいかがか。</p>
<p>2 11番 今村 辰義</p> <p>1 少子高齢化社会が進む中、バリアフリー化された公営住宅の推進を (町 長)</p>	<p>少子高齢化が進む中、本町においても1人暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯が年々増え、高齢者が高齢者を介護するという老々介護の状態も多くなっています。誰もがいつかは高齢者となり、また、障がい者となる可能性があります。こうした現状から、これからは1人でも車いすでの生活が可能なバリアフリー化された住居が更に求められるようになってくると思われれます。それは公営住宅においても同じです。</p> <p>地域福祉計画には、「公営住宅は、抽選でバリアフリーのところがあるのに、待たされている方がいる。」とのアンケート調査が記載されています。また、同ページに実践事業の内容として「高齢者・障がい者にやさしい公共施設や公営住宅等のあり方の調査・研究」の項目があり、21年度から25年度まで毎年調査・研究を実施するように計画されています。</p> <p>これらを踏まえての質問ですが、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 バリアフリー化された公営住宅は現在どこに何戸あるのか。</li> <li>2 そのバリアフリー化された公営住宅を必要とし、そこへ入居している障がい者(世帯)の戸数及び入居できずに待たされている方(世帯)の数は(今後予測する見積もりを含めて)。</li> </ol>

	<p>3 バリアフリー化された公営住宅が現に不足している、あるいは不足が予測されるのであれば、その方面からも、バリアフリー化された公営住宅の新築（大規模改修）が必要と考えるがいかがか。以上について、町長の考えをお伺いいたします。</p>
<p>2 子宮頸がんワクチンの早期接種の必要性と対策について (町長)</p>	<p>道のまとめによると、道内の市町村が、原則として中学1年から高校2年の女子を対象に、全額を公費助成する子宮頸がんワクチンの接種率が7月末時点で31%にとどまっていることが分かりました。この原因は、一時のワクチン不足が影響して低迷しているとの見積もりもあります。各市町村の助成事業は、国が費用の半額を負担する制度を活用しています。ただ、国の助成は本年度までであり、助成が来年度も継続されるかは未定で、3回の接種を本年度内に終えるには、今月末が初回の実質的な期限であります。そこで質問ですが、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 この状況を町はどのように認識し、どのような手段で接種を呼びかけてきましたか。</li> <li>2 道と対比できる7月末時点での町の接種率は何%でしたか。</li> <li>3 9月末での初回の予想接種率はいくらになりますか。</li> <li>4 町としても国に対して助成期間の延長を要望する必要があると思いますがいかがですか。</li> </ol> <p>以上について町長の考えをお伺いいたします。</p>
<p>3 10番 一色 美秀 1 水害対策について (町長)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 道路・農道・用水路・河川の被害</li> <li>2 農作物の被害</li> </ol> <p>上記2点の実態調査の報告と、町としていかなる対処をしてきたか、さらに今後の対応について伺いたい。</p>
<p>2 商工業者の年末資金対策について (町長)</p>	<p>町独自の融資制度による商工業者の年末の資金繰り対策について、3.11の震災により、商店街、飲食街の売り上げの落ち込みは非常に大きく、さらに農家の水害による収入減により消費は冷え込むものと思われる。売上の減少は当然、年末の資金繰りを圧迫する。短期的にでも、つなぎ融資をして町の商工業者の救済に努めるべきであり、町の対策について考えを伺いたい。</p>
<p>3 認知症対策について (町長)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域の支え合い活動の立ち上げ支援事業により、徘徊高齢者捜索ネットワークが構築され、現在27名の登録があるとのことですが、潜在者がまだまだいると思われる。個人情報とのからみもあるが、その調査と認知症患者をかかえる家族や住民への啓蒙や意識改革が必要と考えるが、町はどのように進めているのか伺いたい。</li> <li>2 認知症患者の受け入れ体制は町としてどのように考えているのか伺いたい。当町では認知症の方が増えてきている。地元で受け入れる施設がなく、家族だけでは抱えきれない。他町村の民間の施設では、経済的負担も非常に多く、しかも家族や友人と離れてしまうので、地元で受け入れる施設をとの要望が多いが、町としてはどのような対策と今後の計画を考えているのか伺いたい。</li> </ol>

<p>4 7番 中村 有秀</p> <p>1 子宮頸がんワクチンの接種状況と、今後の取り組みについて (町長)</p>	<p>子宮頸がんはワクチン接種によって予防可能な唯一のがんと言われ、町も平成22年第4回定例会にて補正し、実施されてきました。</p> <p>北海道新聞によると、平成23年7月末の時点での道内の接種率は31%にとどまっていると北海道が発表したと報道されていますが、次の点について伺います。</p> <p>(1) 当町の8月末の接種率は、対象者279名で211名が接種され、接種は75.6%と報告を受けたが、1回目、2回目、3回目の接種対象者数、接種者数、接種率は</p> <p>(2) 国が費用の半額負担の助成事業によって道内の多くの自治体の実施をしたが、今後の国の方針が不明確であります。「上富良野で生まれ育った女性から、子宮頸がんを発症させない」という立場から、国の助成がなくなっても町独自で実施すべきと考えるが町長の見解を求めます。</p>
<p>2 集中豪雨による本町4丁目・5丁目の町道冠水の原因と今後の対策について (町長)</p>	<p>本町4丁目・本町5丁目の町道冠水は、7月14日・15日及び9月2・3日の集中豪雨によって発生し、地域住民と役場関係者と共に必死になって防災に努めてきました。</p> <p>この地域は、日の出公園から見て低地にあって集中豪雨・ゲリラ豪雨の度にその被害を受けておりますが、次の点について伺います。</p> <p>(1) 集中豪雨によるこの地域の町道冠水の原因は想定外の雨量もあるが、排水路を含めてどうか。</p> <p>(2) この地域は住宅街が密集しており、長雨があれば地域住民は不安な状況にあります。これらの解決の抜本的対策が急務と考えますので、町長の見解を求めます。</p>
<p>3 道路側溝の道路排水機能が不十分な地域の側溝整備の促進について (町長)</p>	<p>町道の道路側溝の凹凸と歪みにより道路排水が不十分な地域が町内に多く見られます。</p> <p>また、仲通り等の道路の中心にある道路排水溝も同様であると共に、交通上も非常に危険な状況にありますので、</p> <p>(1) これらの状況を含め、道路側溝及び道路排水についての点検はどのようにされているか。</p> <p>(2) これらの対策を速やかに行うべきと判断するが、その対策と計画は。</p>

<p>5 4番 米澤 義英</p> <p>1 介護保険制度について (町 長)</p>	<p>平成24年度より、新たな介護制度が実施されようとしています。次の項目について伺います。</p> <p>1、現在の介護保険制度では、要支援と認定された場合、予防給付を受けることとなりますが、新制度では総合事業に移行させるのかどうかは、自治体の判断にゆだねられていると聴いているがどうか、また、利用者が従来の介護保険制度を選択できるのか、さらに、自治体の財政力によって、サービスの質が保たれるか、という問題点もあると考えるがどうか。</p> <p>2、総合事業をおこなう地域支援事業では、その事業費が介護給付の3%以内と制限されているが、必要なサービスの提供ができるのかどうか、町の要支援の人たちの介護給付費は、給付費全体の割合は。</p> <p>3、介護保険料の引上げが実施されるのか、その改定額は。</p> <p>4、24時間地域巡回訪問サービスの実施は。</p> <p>5、介護保険事業運営協議会を公開されるのか。</p> <p>6、特別養護老人ホームの増床と小規模多機能型居宅介護施設の設置について。</p>
<p>2 公営住宅の整備について (町 長)</p>	<p>公営住宅に入居している高齢者の中には、玄関入り口のわずかな段差が、自宅の出入りを困難にしていることがあります。段差の解消を検討してはどうか。</p>
<p>3 災害対策について (町 長)</p>	<p>集中的な大雨により、河川氾濫、土砂の流出、道路の損壊など多くの被害が出ていますが、次の点について答弁を求めます。</p> <p>1、農家などにおいては、敷地内の土砂の流出や側溝の損壊などが発生し、すでに、自前での修復を始めていますが、支援について伺いたい。</p> <p>2、大雨により、例として、日の出公園からの水の流失、パークゴルフ場横の河川の氾濫による住宅への被害など、同じ箇所が被害にあっている状況を踏まえて、住民の安全を守るためにも恒久的な対策が必要では。</p>
<p>4 自然エネルギーについて (町 長)</p>	<p>上富良野町においては、新エネルギー計画を策定しましたが、再生可能な自然エネルギーの活用の方策をさらに明確にすることが求められていると考えますが、今後の対応について伺います。</p>
<p>5 原子力発電について (町 長)</p>	<p>福島原子力発電所の損壊による被害は、広がりを見せています。北海道においては、泊原子力発電所があり、発電所の損壊も否定できないと考えますが、原子力発電所の設置計画の中止と再点検を国や道にも要請すべきでは。</p>
<p>6 トイレの改修について (教育長)</p>	<p>富原の運動公園駐車場の横にある老朽化している、トイレの改修をしてはどうか。</p>